

庁議の概要

開催日 平成27年7月21日（火）

◎項目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ あったかふれあいセンターと集落活動センターとの連携について

（地域福祉部）

今年度開設予定の集落活動センター13カ所の内8カ所において、あったかふれあいセンターとの連携のあり方について現場の方と具体的に検討していきたいと考えている。

（知事）

あったかふれあいセンターと集落活動センターの連携は、何か大きい動きがあったのか。

（地域福祉部）

いえ。中山間対策・運輸担当とも相談し、具体的に動きそうな8カ所で検討していくこととしたので、この場で報告した。

（知事）

相互にとっていいはずだから、お互い考えて、ぜひ良いモデルを作ってもらいたい。

（地域福祉部）

はい。管内でよく相談しながら進めたい。

○ 電気柵の状況について

（中山間対策・運輸担当）

一昨日電気柵の事故が静岡で起きた。現在の県内の状況は、全体で3,300キロメートルの柵があり、そのうち1,200キロメートルが電気柵。

電気柵は、危険表示を行うことと、家庭用のコンセントから電源を引っ張った場合には漏電の遮断機を設置する義務があるが、今回の事故はそのあたりが十分ではなかったのではないかとされている。

どこに配置しているかは十分把握しているので、県としては、市町村と一緒に鳥獣被害対策専門委員会を通じて全戸に指導とチェックに回るように考えている。

（知事）

どこに配置しているか分かっているのか。

（中山間対策・運輸担当）

補助事業で設置した箇所については分かっている。7月23日開催の専門委員会で、具体

的にどこを回ってこういった形でチェックをしていくかということについても申し合わせをしたいと考えている。

(知事)

とにかく万全を期して。よろしく願います。

(中山間対策・運輸担当)

万全を期して対応する。

○最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

いくつか申し上げたい。

1点目、先週の台風の後もずっと雨が降り続き、また台風12号も接近してきている状況なので、ぜひ災害対応について今年も万全を期していただきたい。

去年はよさこいの時期に大きい台風が2つきて、しかもその台風以前からの豪雨に引き続く形で大変な状況になっていた。幸い死者は1人も出さずに済んだが、これは皆の必死の努力と先人が築いてくれたインフラの整備のおかげということだろう。

しかしながら今年度も予断を許さない状況なので、今年も何とか必死の努力でもって1人も死者を出さないよう頑張らないといけない。それぞれの部局において、これから1カ月ぐらいは大型の災害が発生する可能性を考え準備を重ねてほしい。去年多くのことを学んだと思うので、それを生かしてほしい。

その際にはいろいろと基準を設定していると思うが、この基準にあまり拘泥しないように、その時々において最悪の事態を想定して、常に安全側に立った判断をしてほしい。基準に達していないから動かないではなくて、基準には達していないかもしれないが、その他諸事情を勘案した場合には対応が必要だということも多々あると思う。まだまだ基準というのは未発達だと思うので、拘泥しないように、柔軟に考えて。最終的には私が全部責任を取るので、部局長一人一人が柔軟な判断を。それで悩むときに決断するために私がいるので、24時間常に連絡をするように。去年の鏡ダムの操作も、マニュアル以外の対応をしたから氾濫を起こさないで済んだのだが、それに伴うリスクも当然あり、部長が私のところに飛んできて話をしたという経緯があった。

これは部下職員にも徹底し、上に判断を求める声上がるような組織づくりを。

2点目、これから夏休み期間になるので、交代で夏休みを取るように。

昨年に比べ今年の4～6月は若干残業が増えているが、良い仕事をしていくためにもワークライフバランスは非常に大事なので、夏休みを十分に取るようお願いする。役割分担をして、よく取れるように工夫を。

3点目、既に産振本部会議等を通じて、4年後、第2期計画が始まってからの10年後を目指した議論を開始したが、夏休み期間中を腰を据えて議論をする時期と考えている。その勉強の成果を9月の提案説明で表明することが求められていると考えているので、ぜひ骨太な議論の展開をさせてもらいたい。長寿県構想についても骨太の議論を展開しておく必要がある。大型の課題に焦点を絞り、その解決に向けていろいろな施策を集中化していくような、施策をもう一段組み直していくことが必要になってくる。